

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-003

PDCA	事務事業名	文化振興事業	部課等名	教育部生涯学習課 生涯学習担当	担当	蟹江	
					内線等	23-7341	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (2) 文化の振興 個別施策： ①文化事業の充実					
	根拠法令等	文化芸術基本法					
	対象・目的	文化による多様な価値観の形成及び地域の包括的環境の推進による文化芸術の社会的価値の醸成を図るため、文化に係る各種事業を展開する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市文化協会の支援、文化活動全国大会等出場激励金の支給、ファミリープログラムをはじめ、子どもから高齢者、障がい者や在留外国人などが生涯を通じて文化芸術を享受できるよう文化芸術に関する事業を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①文化振興事業開催数	—	—	2	回	
		②文化振興事業参加者数	—	—	68	人	
		事業費	—	—	324	千円	
		人件費	—	—	6,064	千円	
		総事業費	—	—	6,388	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①文化振興事業参加者1人当たりの事業コスト	—	—	9,394	円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①ファミリープログラムのチケット売上	実績値	—	—	—	%
			目標値	—	—	100.0	
		②鑑賞・体験事業の満足度（ファミリープログラム）	実績値	—	—	—	%
			目標値	—	—	84.0	
③激励金申出件数		実績値	—	—	11	件	
		目標値	—	—	37		
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	
	事業の評価・課題	C					
		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の大半を中止することとなり、また各種大会の中止に伴い激励金の支給も大幅に減少するなど、当初予定していた事業展開とはなかったが、外部から文化芸術分野の有識者を招き助言等いただくなど、各種文化振興事業の在り方を見直すと共に、今後の新たな施策を検討することができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進					
		文化振興計画の策定に伴い、既存事業、新規事業を含め改めて本市における文化芸術の在り方を見直し、新たなビジョンと共に文化振興施策を展開していく。					
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①ファミリープログラムのチケット売上			100.0	%	
		②鑑賞・体験事業の満足度（ファミリープログラム）			84.0	%	
	③激励金申出件数			37	件		